



Best Quality for a Better Life

最高の質を追求し、
人々の豊かな未来に貢献します

2008年3月期
(07年4月～08年3月)
連結決算補足資料

2008年5月2日

三菱レイヨン株式会社



BEST QUALITY
FOR A BETTER LIFE

- I. 2008年3月期連結決算概要
 - 1. セグメントの組替え
 - 2. 数理計算上差異について
 - 3. 業績の概要
 - 4. 営業利益増減内訳概算
 - 5. 事業セグメント別収益状況
 - 6. 所在地セグメント別収益状況
 - 7. 海外売上高
 - 8. 営業外損益内訳
 - 9. 特別損益内訳
 - 10. 主要B/S概要
 - 11. キャッシュ・フロー要約
 - 12. 資源投入
 - 13. 主要経営指標
- II. 2009年3月期連結業績予想
 - 1. 数理計算上差異の影響
 - 2. 通期業績予想
 - 3. 営業利益増減内訳概算
 - 4. セグメント別業績予想
- III. 付属資料
 - 1. 事業構造
 - 2. 主要投資案件の進捗状況
 - 3. 09年3月期業績に寄与する新設備

数字は四捨五入で表記

セグメントの変更

2007年4月の組織改正に伴い、セグメントを変更いたしました。

《 組替え前 》

化成品・樹脂事業	
化成品	→
ダイアトリックス	
機能樹脂	
機能化学品	
情報材料	
繊維事業	
アクリル繊維	→
テキスタイル	
その他繊維	
炭素繊維・複合材料、機能膜事業その他	
炭素繊維・複合材料	→
機能膜その他	

《 組替え後 》

化成品・樹脂事業	
化成品	→
機能樹脂	
機能化学品	
情報材料	
アクリル繊維・AN及び誘導品事業	
AN及び誘導品	→
アクリル繊維	
炭素繊維・複合材料事業	
アセテート、機能膜事業その他	
アセテート繊維ほか	→
機能膜・エンジニアリング	
その他	

退職給付会計の数理計算上差異の処理の変更について

当社は、2005年4月に、退職年金制度の変更に伴い、退職給付会計における数理計算上の差異について、償却年数、計上科目の変更などを行っています。

		2005年3月期	2006年3月期以降
制度の変更		適格退職年金制度	キャッシュバランス型年金制度
数理計算差異	償却年数	5年	1年
	償却内容	過年度(01年3月期～04年3月期)に発生した差異を発生翌年度から5年償却とした当年度累計額	前年度に発生した差異を発生翌年度に一括処理
	計上科目	営業外費用	営業費用

1. 数理計算差異の発生と償却

2006年3月期の数理計算差異としては、退職給付債務の変動14億円、年金資産の変動57億円、退職給付信託の変動79億円、合計150億円が発生し、これを2007年3月期で償却しました。

当初予定



確定＝数理計算差異の発生



2. 2007年3月期業績への影響

上記数理差異150億円のうち、営業利益及び経常利益として142億円、当期純利益として約85億円が加算されました。

1. 数理計算差異の発生と償却

2007年3月期の数理計算差異としては、退職給付債務の変動7億円、年金資産の変動△10億円、退職給付信託の変動△25億円、合計△28億円が発生し、これを2008年3月期で償却しました。

当初予定

2007年3月末予定退職給付債務 645億円		前払年金費用 119億円
退職給付引当金287億円	年金資産365億円	退職給付信託 112億円

確定＝数理計算差異の発生

2007年3月末実績退職給付債務 638億円		前払年金費用 119億円
退職給付引当金287億円	年金資産355億円	退職給付信託 87億円

数理計算差異
△28億円

2. 2008年3月期業績への影響

上記数理差異△28億円に対し、前期の数理差異(益)の在庫帰属額の振り戻しがあるため、営業利益及び経常利益として年間△20億円、当期純利益として年間△12億円が減算されました。

項目	単位	07年 3月期	08年 3月期	増減		
				額	率(%)	
売上高	億円	4,170	4,185	+15	+0.4	
営業利益	億円	数理差異償却後	597	375	△222	△37.1
		償却前実質ベース	455	396	△59	△13.0
経常利益	億円	数理差異償却後	585	340	△245	△41.9
		償却前実質ベース	443	360	△83	△18.6
当期純利益	億円	数理差異償却後	313	143	△170	△54.4
		償却前実質ベース	228	155	△73	△32.0
配当	円/株	10.0	11.0	+1.0		

条件

為替	円/ドル	116	113		
国産ナフサ価格	円/KL	50,000	61,400		

注) 06年3月期から退職給付会計における数理計算上の差異を営業費用に計上しているため、利益を二段表示にしています。

対07年3月期比較

単位：億円

項目	全社	備考
原燃料価格	△98	
販売価格	+72	うち為替△25
数量	+12	
コストその他	△45	償却制度変更△32
合計	△59	
営業利益	455 → 396	

注) 営業利益は、数理計算差異償却前の実質ベース

事業セグメント別概要

単位：億円

セグメント	項目	売上高			営業利益 (上段：償却後) (下段：償却前)		
		07年3月期	08年3月期	増減	07年3月期	08年3月期	増減
化成品・樹脂		1,856	1,870	+14	387	223	△164
					295	236	△59
アクリル繊維・AN 及び誘導品		738	737	△1	22	7	△15
					1	10	+9
炭素繊維・ 複合材料		400	468	+68	121	110	△11
					104	113	+9
アセテート、機能 膜その他		1,177	1,110	△67	67	34	△33
					54	36	△18
合 計		4,170	4,185	+15	597	375	△222
					455	396	△59

注) 06年3月期から退職給付会計における数理計算上の差異を営業費用に計上しているため、利益を二段表示にしています。

事業セグメント別収益状況

08年3月期実績

10

化成品・樹脂

単位：億円

	07年3月期	08年3月期	増減	備考
売上高	1,856	1,870	+14	
化成品	(763)	(824)	(+61)	MMAモノマー販売好調 惠州恵菱化成フル寄与
機能樹脂	(522)	(492)	(Δ30)	
機能化学品	(401)	(407)	(+6)	
情報材料	(170)	(147)	(Δ23)	プリズムシート減収
営業利益	295	236	Δ59	原燃料価格高騰

注) 営業利益は退職給付会計数理計算差異償却前の実質ベース

事業セグメント別収益状況

08年3月期実績

11

アクリル繊維・AN及び誘導品

単位：億円

	07年3月期	08年3月期	増減	備考
売上高	738	737	△1	
AN及び誘導品	(318)	(363)	(+45)	AN販売堅調
アクリル繊維	(419)	(375)	(△44)	中国市場の需要減退
営業利益	1	10	+9	

炭素繊維・複合材料

単位：億円

	07年3月期	08年3月期	増減	備考
売上高	400	468	+68	豊橋増設設備稼働開始
営業利益	104	113	+9	

注) 営業利益は退職給付会計数理計算差異償却前の実質ベース
 -2008.5.2 2008年3月期連結決算補足資料-

事業セグメント別収益状況

08年3月期実績

12

アセテート、機能膜その他

単位：億円

	07年3月期	08年3月期	増減	備考
売上高	1,177	1,110	△67	
アセテート繊維ほか	(440)	(445)	(+5)	
膜・エンジニアリング	(281)	(200)	(△81)	プラント建設の公共事業減少
その他	(457)	(465)	(+8)	
営業利益	54	36	△18	

注) 営業利益は退職給付会計数理計算差異償却前の実質ベース

所在地セグメント別収益状況

08年3月期実績

13

単位：億円

項目 所在地	売上高			営業利益 (上段：償却後) (下段：償却前)		
	07年3月期	08年3月期	増減	07年3月期	08年3月期	増減
日本	3,384	3,252	△132	497	264	△233
				355	285	△70
アジア	479	623	+144	56	70	+14
米国	307	311	+4	46	48	+2
消去または全社				△2	△7	△5
合計	4,170	4,185	+15	597	375	△222
				455	396	△59

注) 06年3月期から退職給付会計における数理計算上の差異を営業費用に計上しているため、利益を二段表示にしています。

単位：億円

項目		売上高		
		07年3月期	08年3月期	増減
連結売上高		4,170	4,185	+15
海外売上高		1,873	1,980	+107
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)		44.9	47.3	+2.4
部門別	化成品・樹脂	839	889	+50
	アクリル繊維・AN及び誘導品	398	385	△13
	炭素繊維・複合材料	273	315	+42
	アセテート、機能膜その他	363	390	+27
地域別	アジア	1,281	1,400	+119
	北アメリカ	298	241	△57
	ヨーロッパ	163	199	+36
	その他	131	139	+8

単位：億円

項目	07年3月期	08年3月期	増減	備考
営業外収益	30	28	△2	
受取利息及び配当金	8	10	+2	
持分法による投資利益	5	9	+4	
その他	17	9	△8	為替差益△6
営業外費用	42	64	△22	
支払利息	14	20	△6	
その他	28	43	△15	為替差損△10
営業外収支	△12	△35	△23	
(金融収支)	(△6)	(△11)	(△5)	

単位：億円

項目	07年3月期	08年3月期	増減	備考
特別利益	19	1	△18	
固定資産売却益	12	1	△11	
その他の特別利益	7	0	△7	
特別損失	40	62	△22	
固定資産廃棄・処分損	26	17	+9	
減損損失	1	14	△13	
投資有価証券等評価損	2	1	+1	
その他の特別損失	12	29	△17	訴訟和解金△7 投資有価証券等売却損△6
特別損益	△21	△61	△40	

単位：億円

項目	07年3月末	08年3月末	増減	備考
資産合計	4,496	4,515	+19	
流動資産	1,757	1,773	+16	
有形固定資産	1,701	1,735	+34	設備投資+292 減価償却費△247
投資有価証券	745	710	△35	
その他の固定資産	293	298	+5	
負債合計	2,239	2,357	+118	
(有利子負債残高)	(653)	(1,087)	(+434)	(社債発行+200)
純資産合計	2,257	2,158	△99	
株主資本	1,964	1,942	△22	
評価・換算差額等	161	53	△108	
少数株主持分	133	163	+30	
負債純資産合計	4,496	4,515	+19	

単位：億円

項目	07年3月期	08年3月期	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	522	318	税金等調整前当期純利益278、 減価償却費253、 法人税等の支払額△179
投資活動による キャッシュ・フロー	△412	△508	設備投資支出△326 投資有価証券の取得△161
フリーキャッシュ・フロー	110	△190	
財務活動による キャッシュ・フロー	△102	+265	配当金支払額△63、自己株取得△101、 社債発行+200、長期借入金+250
現金及び現金同等物の 増減額	+6	+67	
現金及び現金同等物の 期末残高	107	174	

項目	単位	07年3月期	08年3月期	増減	備考
設備投資額	億円	371	292	△79	
化成品・樹脂		166	170	+4	
アクリル繊維・AN及び誘導品		52	28	△24	
炭素繊維・複合材料		117	67	△50	
アセテート、機能膜その他		36	27	△9	
減価償却額	億円	170	247	+77	
化成品・樹脂		92	128	+36	
アクリル繊維・AN及び誘導品		33	40	+7	
炭素繊維・複合材料		23	48	+25	
アセテート、機能膜その他		22	31	+9	
研究開発費(償却前実質ベース)	億円	111	119	+8	
従業員数	人	7,809	7,699	△110	
化成品・樹脂		2,258	2,226	△32	
アクリル繊維・AN及び誘導品		1,660	1,478	△182	海外紡績会社減少
炭素繊維・複合材料		601	631	+30	
アセテート、機能膜その他		3,290	3,364	+74	

項目		単位	07年3月期	08年3月期
ROA	営業利益 ÷ 平均総資産	%	10.9	8.8
ROE	純利益 ÷ 平均自己資本	%	11.5	7.5
営業利益率	営業利益 ÷ 売上高	%	10.9	9.5
D/Eレシオ	期末有利子負債残高 ÷ 期末自己資本		0.31	0.54
自己資本比率	期末自己資本 ÷ 期末総資産	%	47.2	44.2
1株当たり純利益		円	38.1	26.0
1株当たり純資産		円	354.3	348.6
期末発行済株式数	(自己株式を含む)	百万株	600.0	600.0
期末自己株式数		百万株	0.5	27.6

1. 退職給付会計の数理計算差異の発生と償却

2008年3月期の数理計算差異としては、退職給付債務の変動0億円、年金資産の変動△65億円、合計△65億円が発生する見込みであり、これを2009年3月期で償却します。

当初予定



2. 2009年3月期業績への影響

上記数理差異△65億円のうち、営業利益及び経常利益として約△60億円、当期純利益として約△36億円が減算されます。

通期業績予想

09年3月期予想

22

項目	単位	08年3月期 実績	09年3月期予想		
			上期	下期	通期
売上高	億円	4,185	2,130	2,170	4,300
営業利益	億円	数理差異償却後	110	130	240
		償却前実質ベース	140	160	300
経常利益	億円	数理差異償却後	100	130	230
		償却前実質ベース	130	160	290
当期純利益	億円	数理差異償却後	35	60	95
		償却前実質ベース	53	78	131
配当	円/株	11.0	5.5	5.5	11.0
設備投資額	億円	292	150	250	400
減価償却額	億円	247	130	140	270
のれん償却額	億円	8	4	4	8
研究開発費(償却前実質ベース)	億円	119	65	70	135
数理計算差異償却額	億円	21	30	30	60
前提	為替	円/ドル	113	100	100
	国産ナフサ価格	円/KL	61,400	67,000	67,000

08年3月期中間実績 対 09年3月期中間見通し 比較

単位：億円

項目	全社	備考
原燃料価格	△50	
販売価格	△45	うち為替△80
数量	+20	
コストその他	△20	
合計	△95	
営業利益	235 → 140	

注) 営業利益は、数理計算差異償却前の実質ベース

セグメント別業績予想

09年3月期予想

24

単位：億円

項目 セグメント	売上高				営業利益 (上段：償却後) (下段：償却前)			
	08年3月 期実績	09年3月期予想			08年3月 期実績	09年3月期予想		
		上期	下期	通期		上期	下期	通期
化・樹	1,870	960	990	1,950	223	81	91	172
					236	100	110	210
アクリル織 維・AN	737	360	350	710	7	△9	△9	△18
					10	△5	△5	△10
炭・複	468	230	240	470	110	21	31	52
					113	25	35	60
アセ、膜 他	1,110	580	590	1,170	34	17	17	34
					36	20	20	40
合計	4,185	2,130	2,170	4,300	375	110	130	240
					396	140	160	300

注) 06年3月期から退職給付会計における数理計算上の差異を営業費用に計上しているため、利益を二段表示にしています。

セグメント	体系	アクリル系		非アクリル系
		MMA系	AN系	
化成品・樹脂	化成品	MMAモノマー、 メタクリル酸エステル		ジメチルフォルムアמיד
	機能樹脂	アクリル樹脂板、 アクリル樹脂成形材料		PBT樹脂
	機能化学品	コーティング材料、 樹脂改質剤		
	情報材料	プリズムシート、光ファイバー、 ロッドレンズ		
アクリル繊維・ AN及び誘導品	AN及び誘導品		ANモノマー、凝集剤ほか	
	アクリル繊維		アクリル短繊維	
炭素繊維・複合材料			炭素繊維トウ、プリプレグ、 加工品	
アセテート、機 能膜その他	アセテート繊維 ほか			テキスタイル
	膜・エンジ			浄水器、水処理機器システム、 プラントエンジニアリング
	その他			菱晃、その他

主要投資案件の進捗状況

付属資料

26

状況	稼働	製品	設備能力	会社名	所在地	投資額 (百万USドル)
稼働開始	05/06	コーティング材料	3,500 t/年	三菱麗陽高分子材料(南通)	中国南通	30
	05/07	アクリル樹脂板	20,000 t/年			
	05/12	アクリル繊維	50,000 t/年	寧波麗陽化繊	中国寧波	100
	06/01	炭素繊維	1,500→2,000 t/年	Grafil	アメリカ	
	06/06	プリズムシート	3,000万→4,500万枚/年		日本	
	06/12	MMAモノマー	90,000 t/年	惠州恵菱化成	中国惠州	100
	07/01	炭素繊維	500～750 t/年	SGL Technic	イギリス	(生産委託)
	07/05	炭素繊維	3,200→5,400 t/年	三菱レイオン	日本	70億円
	07/09	プリズムシート	4,500万→6,000万枚/年		日本	20億円
建設中	08/2Q	アクリル樹脂成形材料	40,000 t/年	大山MMA (湖南石化との合併)	韓国	折半出資
	08/4Q	MMAモノマー	90,000 t/年			
	【2008	MMAモノマー	(一部引取り) 120,000 t/年	Lucite	シンガポール	】
	09/4Q	炭素繊維	5,400→8,100 t/年	三菱レイオン	日本	120億円
次期案件	09/4Q	アクリル樹脂板	20,000 t/年	タイMMA	タイ	270
	10/2Q	MMAモノマー	90,000→180,000 t/年			
	2010 ～11	MMAモノマー	(一部引渡し) 140,000 t/年	三菱レイオン	アメリカ	

注) Qは暦年

—2008.5.2 2008年3月期連結決算補足資料—

09年3月期業績に寄与する新設備

付属資料

27

影響	稼働時期	製品	所在地	社名	能力
年間通して寄与	07/05	炭素繊維	日本	三菱レイヨン	3,200→5,400 t/年
	07/09	プリズムシート	日本	三菱レイヨン	4,500万枚→ 6,000万枚/年
期中に稼働開始	08/2Q	アクリル樹脂 成形材料	韓国	大山MMA (湖南石化との合 弁)	40,000 t/年
	08/4Q	MMAモノマー			90,000 t/年
	【2008	MMAモノマー	シンガポール	Lucite	(一部引取り) 120,000 t/年】

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の結果は、今後様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。